

# 平成24年度 理科支援員配置事業

－その取組と成果・課題－

高山賢吉

平成19年度に開始された「理科支援員等配置事業」は、基本的な制度設計を図りながら、理科支援員と特別講師の効果的な配置に併せて具体的支援内容の研究に取り組んできたが、今年度末で本事業は廃止となる。平成22年度から特別講師が廃止され理科支援員の配置のみとなり、未配置校を優先させながら14教育局管内全ての小学校に理科支援員を配置した（計画209学級）。

〔キーワード〕 理科支援員 SCOT事業 北海道

## はじめに

SCOT事業の最終年度を迎え、4月1日にJSTとの最後の委託契約を締結した。

今年度、道内で理科支援員の配置を要望した学校は、156校458学級、20,219時間であり、その多くが継続（既）配置校であった。その中から支援員未配置校を優先させ、82校、209学級、9,755時間を、14教育局管内全てに理科支援員を配置することができたが、事業規模の縮小により、理科支援員の配置を要望した小学校すべてに支援員を配置することはできなかった。

全道各地で人材を発掘しながら、配置決定したすべての市町村立小学校に理科支援員を配置することができた。

## 1 SCOT事業の目的と背景

SCOT事業は、有用な外部人材を理科支援員として理科の授業に配置し活用することで、「理科の授業における観察・実験活動の充実及び教員の資質向上を図ること」を目的としている。このことは、小学校教員が多忙で実験の準備などが困難なことから、理科を苦手とする教員が多いことが背景にある。

## 2 この1年のSCOT事業の歩み

4月1日 JSTと委託契約

4月4日 理科支援員配置事業実施要領作成

5月1日 理科支援員配置開始  
5月28日 理科人材コンソーシアム会議開催  
6月23日 理科支援員養成研修会  
8月10日 理科支援員実技研修会  
2月28日 理科支援員配置事業終了  
3月31日 理科支援員配置事業廃止

## 3 理科人材コンソーシアム会議の開催

理科人材コンソーシアム会議には理科教育の関係者として、以下の委員が委嘱された。

○田中 實	前北海道教育大学札幌校教授
○境 智洋	北海道教育大学釧路校准教授
○和田恵治	北海道教育大学旭川校教授
○松浦俊彦	北海道教育大学函館校准教授
○大野栄三	北海道大学教育学部教授
○菅原昌俊	札幌市立和光小学校長（北海道小学校理科研究会）
○工藤良一	北海道経済産業局地域経済部産業人材政策課課長補佐
○竹林 亨	北海道教育庁学校教育局義務教育課義務教育指導G主幹
○高山賢吉	北海道立教育研究所附属理科教育センターSCOT事務局
○三木勝仁	北海道立教育研究所附属理科教育センター研究研修主事

#### 4 理科支援員研修の実施

- (1) 6月23日(土) 理科支援員養成研修会 (江別市: 12名参加)

○内容: 事業の説明, 理科支援員の服務, 基礎的な実験スキルの習得

- (2) 8月10日(金) 実技研修会 (附属理科教育センター: 15名参加)

○内容: 気体検知管の使用法, 試薬の調製, 電流計等の測定機器の使用法, 顕微鏡の扱い方, 昆虫標本の作り方, 岩石や鉱物の見分け方, 野外活動

#### 5 本年度の理科支援員配置実績

- (1) 配置小学校数 82校 (計209学級)  
 (2) 理科支援員 64人 (複数校配置延べ22人)  
     大学生・院生 22人 (男13人 女 9人)  
     退職教員 32人 (男28人 女 4人)  
     地域人材 10人 (男 1人 女 9人)  
 (3) 配置小学校一覧

<b>■石狩管内</b>	
[恵庭市]	和光小, 恵の野小
[江別市]	対雁小, 大麻泉小
[石狩市]	厚田小
[千歳市]	千歳小
[当別町]	当別小, 西当別小, 弁華別小
<b>■渡島管内</b>	
[函館市]	柏野小, 深掘小, 日吉が丘小, 桔梗小, 中の沢小, 神山小, あさひ小, 北日吉小, 白尻小
[知内町]	涌元小
[八雲町]	関内小, 泊川小, 落部小, 東野小, 黒岩小
[七飯町]	大沼小, 藤城小, 軍川小, 東大沼小, 七重小
[松前町]	館浜小
<b>■檜山管内</b>	
[上ノ国町]	上ノ国小, 河北小, 滝沢小, 湯ノ岱小
<b>■後志管内</b>	
[小樽市]	銭函小, 朝里小
[余市町]	栄小
<b>■空知管内</b>	
[岩見沢市]	東小, 第二小
[美唄市]	峰延小
[由仁町]	由仁小
<b>■上川管内</b>	
[旭川市]	北鎮小, 豊岡小
[東川町]	東川第二小, 東川第三小
[東神楽町]	志比内小, 忠栄小
[比布町]	中央小

[美瑛町]	明德小
<b>■留萌管内</b>	
[留萌市]	幌糠小
<b>■宗谷管内</b>	
[稚内市]	下勇知小, 上勇知小
<b>■オホーツク管内</b>	
[紋別市]	元紋別小
[湧別町]	芭露小, 中湧別小
[北見市]	上仁頃小, 豊地小, 西小, 若松小, 日吉小, 常呂小
[遠軽町]	安国小
<b>■胆振管内</b>	
[室蘭市]	天沢小, 八丁平小, 大沢小
[苫小牧市]	緑小, 勇払小, 明德小, 泉野小
[安平町]	早来小
<b>■日高管内</b>	
[平取町]	平取小
<b>■十勝管内</b>	
[帯広市]	若葉小
[幕別町]	白人小, 明倫小
<b>■釧路管内</b>	
[釧路市]	桜が丘小, 鶴野小
<b>■根室管内</b>	
[根室市]	北斗小
[別海町]	別海中央小, 中西別小
[標津町]	川北小
[羅臼町]	羅臼小, 春松小

#### 6 SCOT通信による情報の共有

理科支援員の具体的な支援内容や活動状況を「SCOT通信」の形でデータベース化し, 市町村教育委員会や学校に情報を提供した。

#### おわりに

SCOT事業には, このような実態を背景に, 次の課題が残されていると考えられる。

- (1) 小学校には, 理科の観察・実験を支援する恒常的な職制が必要であり, 地域で理科をサポートする人材ネットワークの構築が望まれる。
- (2) 理科実験に関する力量形成には, 背景となる科学の体系の修得が不可欠であるが, 理科支援員が実践した具体的な支援事例を全領域にわたって網羅することにより, 現職教員の資質向上も図ることができると考えられる。この事業が今年度末で廃止されることは, 極めて残念であるが, 別な形で継続されることが望まれる。

(たかやま けんきち SCOT事務局コーディネーター)